

<専任教員報告>

2018 年度教員活動報告

広瀬 訓 教授 (副センター長)

I. 教育

- 担当科目： 「文学・芸術と核兵器」(全学モジュールⅡ「核兵器廃絶と私たち」)
「核軍縮の法と政治」(全学モジュールⅡ「核兵器廃絶へのアプローチ」)
「医学史・原爆医学と長崎」(オムニバス)(医学部)
「国際機構論」(多文化社会学部)
「軍縮と平和」(オムニバス・責任者)(多文化社会学部)
「基礎演習」(英語担当)(多文化社会学部)
「専門演習」(多文化社会学部)
「核軍縮交渉の法と政治特講」(多文化社会学研究科)
「核軍縮交渉の法と政治特定演習」(多文化社会学研究科)

II. 研究

(1) 主要研究テーマ

- 包括的核実験禁止条約 (CTBT) の意義と特徴
- 国際人道法上の核兵器の位置づけ
- 軍縮・平和教育における各種メディアの有効活用

(2) 著書・論文 (注: research map に掲載する査読付き論文、著書)

- 翻訳 ラメシュ・タクール著 「核兵器禁止条約をめぐる日本の誤った選択」(山口響監修 『核兵器禁止条約の時代』 法律文化社) p31-p.59

(3) 学会誌寄稿、報告書、雑誌・新聞寄稿等 (学術誌、一般誌、新聞を含む投稿論文)

- 広瀬 訓 「朝鮮戦争終結と平和条約への道筋」 *RECNA Policy Paper REC-PP-07* p.12-p.16
- 広瀬 訓 「平和を「考える」読書のために」 『子どもと読書』 430 巻 7・8 号 2018 年 6 月 20 日 p.2~p.6

(4) その他 (学会発表、国際会議発表等) (注: いわゆる専門家・学術的講演、発表)

- 「軍縮をめぐるガバナンスの形成と国連の役割」日本国連学会第 20 回研究大会 東海大学高輪キャンパス 2018 年 06 月 30 日
- 「核軍縮・不拡散における普遍性の意義 ～核実験禁止の系譜を題材として～」日本国際法学会 2018 年度 (第 121 年次) 研究大会 札幌コンベンションセンター 2018 年 9 月 4 日

- *Security Challenges to East Asia : Situation on the Korean Peninsula* the 18th East Asian Seminar on the United Nations System Xijiao Hotel Beijing 2018年11月10日
- *The Development on the Denuclearization of the Korean Peninsula* ILA Round Table on Legal Challenges for Nuclear Deterrence and Nuclear Security Oxford and Cambridge House London, 2019年3月25日

Ⅲ. 地域貢献

- (1) 一般向け講演、公開講座 (注: 市民講座や一般向け講演)
 - 平和首長会議ユース・フォーラムコーディネーター ジュネーブ、スイス、2018年4月26日
 - 平成30年度第1回核兵器廃絶市民講座 「北東アジアの非核化と安全保障」長崎原爆死没者追悼平和祈念館、2018年5月26日
 - 長崎原爆忌平和祈念俳句大会講演 2018年8月4日
 - 国連軍縮フェロウシップ講演 2018年10月3日
 - 「ヒバクシャ国際署名」をすすめる長崎県民の会2周年のつどい講演 長崎原爆被災者協議会講堂 2018年10月13日
 - 「語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)推進事業講演 原爆資料館 2018年10月14日
- (2) メディア対応
別添資料参照
- (3) 地域活動
 - 国連広報センター翻訳校閲チームメンバー
- (4) 外部委員
 - 日本国際連合学会理事
 - 日本軍縮学会理事・編集委員会委員長
- (5) 連携事業
 - 諫早市立諫早北小学校平和講座 2018年6月22日
 - 長崎県立鶴南特別支援学校平和講座 2018年6月27日
 - 雲仙市立千々石中学校平和講座 2018年7月14日
 - 長崎県立猶興館高校出前講座 2018年7月20日

IV. 校務分掌・その他

(1) 校務分掌

- 全学モジュール小委員会委員